

「ガス安全高度化計画2030」 の取組状況について（関係事業者等）



2026年3月9日
ガス警報器工業会

< I .ガス警報器の普及① >

消費段階

安全型機器・設備
の更なる普及拡大

警報器の普及

1. 都市ガス警報器の普及率と事故件数

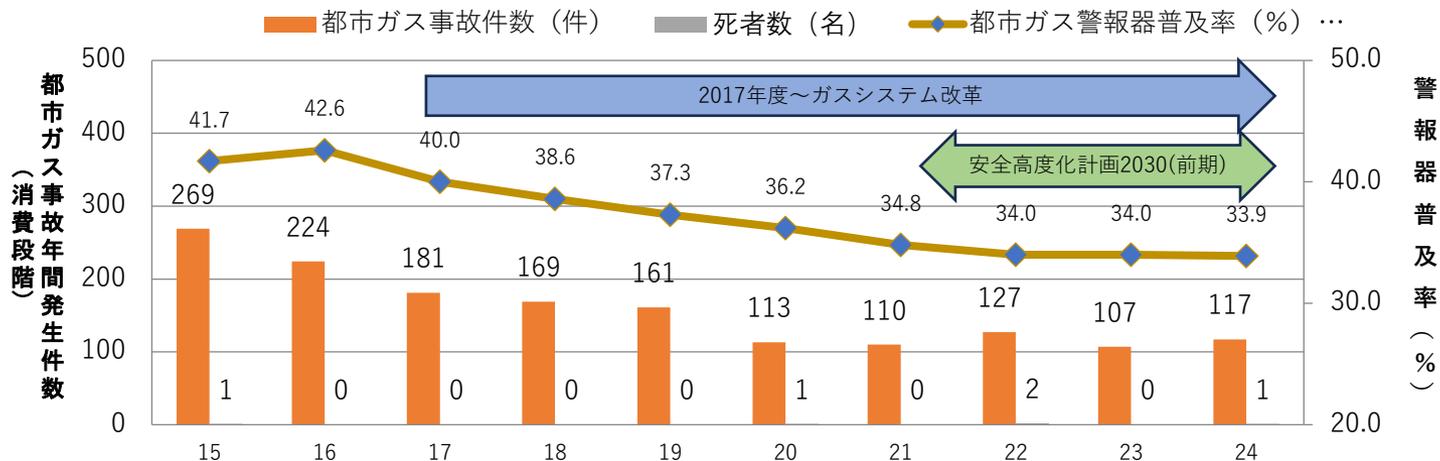
都市ガス警報器の普及率は、2017年度ガスシステム改革による小売全面自由化を境に右肩下がり。2016年度42.6%から2022年度34.0%へ6年間▲8.6ポイントと大幅に低下。2024年度は前年比▲0.1ポイント低下し33.9%と、直近3年間はほぼ横這い。

一方、都市ガス事故は、2022年に京都府木津川市で死亡2名、負傷1名の爆発事故が発生、更に、2024年は広島県下で死亡事故1名が発生した。近年は隔年で死亡事故が発生している。

また、CO中毒事故は、22年3件(中毒16名)、23年2件(同11名)、24年4件(同9名)と発生。

なお、「ガス安全高度化計画2030」第1章3.策定の基本的方向②において、「ガスシステム改革による環境変化が想定される中、…現行の保安レベル維持を達成する」との記載に留意。

都市ガスに係る消費段階の事故は、まだ100件以上起こっており、最近死亡事故も発生しています。ガス警報器の設置は、ガス漏れの発生を素早く認知するのに効果的であり、重大な事故へつながるのを未然に防止できると考えています。しかし普及率は2016年度をピークに漸減しています。ガス警報器工業会では普及率100%を目指し活動しています。



(出所) 事故件数は経済産業省、普及率は(一社)日本ガス協会

< I .ガス警報器の普及② >

2. ガス警報器工業会の取組み

当工業会は、理念「ガス警報器の普及を通じて、国民の暮らしの安全安心に貢献します」に基づき活動。「ガス安全高度化計画2030」を踏まえ、経済産業省、関係機関((一社)日本ガス協会(「[ガス協会](#)」)、(一社)日本コミュニティーガス協会(「[コミュニティ協会](#)」)等)と連携し、ガス小売事業者、需要家等に対し、ガス警報器の有用性や設置促進の啓発に努めている。

特に、トップセールスとして、2024年度から、当工業会の会長が新規ガス小売事業者のトップと会談し、警報器の有用性や設置促進を訴求する活動を開始した。2025年度は訪問先を増やして継続中。

(1) 講師派遣 (ガス協会、コミュニティ協会の保安講習会等)

- [ガス協会](#)主催「消費機器保安関連説明会(新規ガス小売事業者向け、年1回)」へ、2021～2025年度に毎年、説明者を派遣。また、2024年度は警報器製造工場をご視察いただいた。
- [コミュニティ協会](#)主催、2023年度保安講習会(簡易ガス小売事業者向け)へ、講師を2回派遣。

(2) 広報媒体の製作・配付・利用促進

- **【ポスター】** 毎年、経済産業省、関係団体及び消費者団体の後援名義による「設置・交換促進ポスター(都市ガス用6千枚、コミュニティーガス用3千枚)を製作し、ガス事業者等へ配布。
- **【お客様の声】** 毎年、インターネットを利用して、約1万人からガス警報器に関する意識調査や奏功事例を集めた「全国のお客様の声」冊子を作成し、展示会等での配布やホームページ掲載。
- **【都市ガス用チラシ①】** 2023年度に[ガス協会](#)の協力を得て、都市ガス需要家向け**第1弾チラシ**を制作・配布(23年度10小売事業者7.7千枚、24年度2者4.5千枚、25年度5者1.7千枚)。
- **【都市ガス用チラシ②】** 2024年度に[ガス協会](#)と**第2弾チラシ**を共同制作、25年度から配布開始(25年度5者2.8千枚、また1者に電子媒体を提供し10万枚印刷)。



<2025年度ポスター(両面)>



<2025年度お客様の声(全12頁)>



<①第1弾:2023年度制作>



<②第2弾:2024年度制作>

<都市ガス用チラシ(両面)>

< I .ガス警報器の普及③ >

(3) 展示会等

- 一般需要家向けに、毎年「国際福祉機器展(@東京ビッグサイト)」にてブース展示、3日間で約12万人の来場者。ブースには約3千人来訪。
- 2025年度初めて、主婦会館プラザエフ(1階エントランス)に約1月間(7/7~8/5)の特設展示コーナーを設置し、パネル掲示、デモ警報器展示、冊子配布。



<国際福祉機器展>



<主婦会館プラザエフ>

(4) 経済産業省・産業保安監督部への協力

国が、「ガス安全高度化計画2030」を踏まえて周知活動を実施される中、次の協力を行った。

- 九州監督部：防災訓練(2022年熊本県、宮崎県、23年福岡県、熊本県、24年福岡県)でのブース展示にあたり、デモ警報器の貸出や各種パンフレットを提供。
- 関東監督部：2022年度より毎年、保安課長はじめ部職員にて、ガス協会の都県例会やコミュニティ協会の地方部会等において、警報器の周知や都市ガスチラシを配布。
- 近畿監督支部：2023年2月、ガス主任技術者会議で都市ガスチラシを配布。

(5) ガス警報器の機能高度化への取組

① 電池式

電池式の都市ガス警報器については、停電時等の安全確保に必要な製品であり、2020年度に有効期限5年ものが販売開始された。

電池式の都市ガス警報器の検定台数は、順調に増加しており、2024年度33万台で、都市ガス警報器全体(205万台)の16%を占める。



(出所) ガス警報器工業会

② ガス警報器の種類

家庭用では、複合型の都市ガス・CO警報器が一般的に使われている。

- ・単体型：ガス警報器(家庭用、業務用)、CO警報器(家庭用)、業務用換気警報器(業務用)
- ・複合型：ガス・CO警報器(家庭用、業務用)、住宅用火災・ガス・CO警報器(2センサ、3センサ)

業務用需要家に対する安全意識の向上のための周知・啓発

警報器の設置のすすめ
警報器作動時の対応

<Ⅱ. 業務用厨房における業務用換気警報器の設置促進①>

1. 業務用換気警報器(CO警報器)の設置・交換促進運動

(1) 広報媒体の製作・配布・利用促進

- 「業務用厨房でのCO中毒事故防止／業務用換気警報器の必要性」パンフレットを、説明会や展示会等でガス小売事業者、需要家等への配布や、ホームページに掲載。



<業務用換気警報器(CO)パンフレット(全4頁)>

- 「ガス警報器 設置マニュアル」冊子は、1981年初版で現在は第8版。最新の技術や法令等を踏まえたガス警報器の正しい設置方法等について、専門家向けとして、ガス小売事業者等はもとより、建築・設備設計事務所や設置施工される方々にもお役に立つよう作成し、ホームページに掲載や配布。



<設置マニュアル(全48頁)>

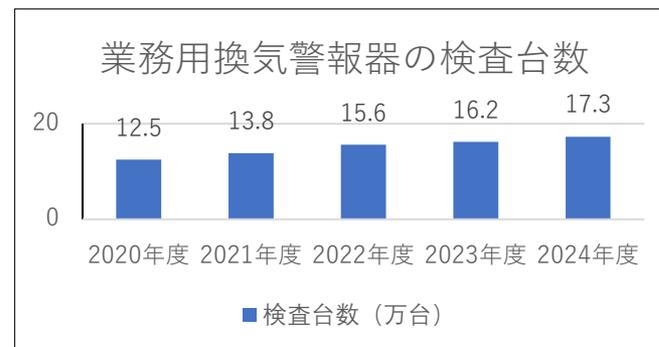
(2) 経済産業省・産業保安監督部への協力

- 本省ガス安全室：2025年度から、ガス安全室主催「業務用施設等でのCO中毒事故連絡会議」（関係省庁メンバー、関係団体オブザーバー、年1回開催）に参加。
- 九州監督部：2024年9月、「業務用厨房CO中毒事故防止」の動画を、X（旧 Twitter）に掲載用として提供。

(3) 業務用換気警報器の検査台数

業務用換気警報器とは、業務用厨房専用のCO警報器。

業務用換気警報器の検査台数は、毎年順調に増加している。



< II. 業務用厨房における業務用換気警報器の設置促進② >

2. 業務用換気警報器の機能高度化

(1) 電池式

業務用換気警報器は、**全ての機種**が、電池式であり、配線不要、設置が容易で取付場所を選ばない。

(2) 音声アラーム・外国語音声

業務用換気警報器は、**全ての機種**に音声アラーム（電子アラームではない）が装備されている。

◆その音声は次のとおり。

- ・「一酸化炭素中毒になるおそれがあります！直ちに換気してください！ガス会社に連絡してください！」
- ・「空気が汚れて危険です！直ちに換気してください！」
（続いて、**外国語（英語、中国語）**の音声切替があり。）



(音声アラーム：英語版)

「ピッピッ、空気が汚れて危険です！直ちに換気してください！Danger carbon monoxide.」

(3) 警報履歴の記録機能

業務用換気警報器は、**全ての機種**に警報履歴の記録機能が装備されている。

例えば、2023年5月福岡県の医療施設厨房でのCO中毒事故（軽症者9名）について、「業務用換気警報器は設置されていたがうるさいから取り外されていた」との証拠として、警報履歴の記録機能が役立ったと報告あり。